

VI 学校（園）の概要

木津川市立木津幼稚園



木津幼稚園園歌

作詞 K T S (木津幼稚園職員)
作曲 尾上昭典

一、お庭に咲いてる きれいな花も
ランランみんな おともだち
げんきな笑顔で あそびましよう
たのしいたのしい 木津幼稚園

二、お空でうたう かわいい小鳥
ランランみんな おともだち
大きな声で 歌いましよう
たのしいたのしい 木津幼稚園

三、赤いほっぺの きみとぼく
ランランみんな おともだち
きょうも仲良く 手をつなごう
たのしいたのしい 木津幼稚園

郵便番号 619-0214
所在地 京都府木津川市木津田中前30番地
電話 (0774) 72-0101
FAX (0774) 72-0800
E-mail kizu-yo@city.kizugawa.lg.jp

1. 園の沿革

昭和

- 32. 3. 12 園舎落成
- 4. 8 木津小学校附属幼稚園として発足。初代園長 竹田正司（小学校兼務）
- 33. 「幼児の健康教育について」研究発表会開催
- 39. 「視聴覚経験を生かした効果的な保育について」研究発表会開催
- 40. 1. 23 放送教育研究発表会開催
- 41. 3. 17 昭和40年度学校安全努力園として表彰を受ける
- 42. 4. 4 創立10周年記念挙行
- 11. 25 完全給食実施
- 44. 園舎増築工事地鎮祭
- 4. 1 二年保育実施
- 5. 30 園舎増築完成
- 46. 「社会領域においての各年令ごとの重点的な指導のねらいと内容について」
京都府教育委員会指定研究発表（第一年次）
- 49. 11. 1 「豊かな心情をめざし生き生きとしたことばを育てる指導」
京都府教育委員会指定研究発表（第二年次）
- 50. 10. 23 「豊かな心情をめざし生き生きとしたことばを育てる ー発展的な遊びの経過を通してー」
第二年次研究発表会開催
- 51. 11. 20 関西幼稚園連合会教育研究大会で研究発表（同上テーマについて）
- 52. 3. 1 創立20周年記念式及び記念行事生活発表会挙行、園歌作成
- 4. 12 園舎増築工事（プレハブ教室2教室及び倉庫）及び旧倉庫撤去工事完成
- 6. 1 三地区（鹿背山、梅谷、市坂）の園児送迎の通園バス運行実施
- 9. 18 創立20周年記念バザーとよい子のまつり開催
- 53. 3. 園舎一部改造（給食準備室、資料室）
- 4. 完全給食再実施
- 54. 9. 水洗便所増設
- 55. 5. 10 小プール設置（中嶋哲太郎氏寄贈）
- 57. 4. 1 専任園長制となる
- 9. 22 新園舎起工式
- 58. 2. 28 新園舎工事完成
- 3. 2 新園舎へ移転
- 3. 9 園舎竣工感謝のつどい
- 3. 30 プール工事完成
- 59. 11. 1 山城地方公立幼稚園教育研究会指定研究発表会
「心を動かす子どもをもとめて」ーこどもの思いを正しく理解し育てるためにはー
- 61. 11. 12 創立30周年記念式挙行、30年のあゆみ刊行、園歌入り額作成
- 62. 5. 19 「なかよし号」新規購入・運行

平成

- 元. 4. 1 園名 木津幼稚園と変更
- 11. 30 平成元年度歯科指導努力園として表彰を受ける
- 3. 10. 23 山城地方公立幼稚園教育研究会指定研究発表会
「一人一人が自己充実し感性を豊かにするには」
- 6. 4 園児送迎の通園バス町運営となる
- 8. 11. 24 創立40周年記念式典挙行、40年のあゆみ刊行
- 10. 8. 4 平成10年度幼稚園教育課程京都府研究大会発表
- 11. 4. 1 3年保育実施（1学級20名）
- 13. 4. 1 文部科学省調査研究委託 木津町教育委員会研究指定（13・14年度）
幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究事業指定（2年間）
- 14. 4. 1 幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究事業指定（2年間）
- 15. 2. 21 文部科学省委託「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」

11. 7	発表会「豊かな心のはぐくみをめざして」ーやさしく・たくましく・いきいきとー 第53回全国学校保健研究大会 課題別研究協議会発表（青森大会） 「幼稚園における心の健康づくりをめざす教育活動について」
16. 8	園舎増築（2教室）
17. 7.30	第52回全国国公立幼稚園教育研究協議会（埼玉大会） ポスターセッション展示発表 「豊かな心のはぐくみをめざして」
18. 7	園児用トイレ改修工事
18.10.15	創立50周年記念式挙行、50年のあゆみ刊行、50周年記念植樹「きんもくせい」
19. 3.12	木津川市誕生により木津川市立木津幼稚園と改称
21. 1.26	平成20年度山城地方学校安全研究協議会実践発表 「幼児が安全で伸びやかに活動できる環境や援助とは」
23. 8.26	平成23年度幼稚園教育課程理解推進事業京都府研究大会発表
26.10.23	平成26年度全国国公立幼稚園長会特別事業近畿ブロック研修会発表
28.12.10	創立60周年記念行事挙行
30.11. 7	京都府公立幼稚園こども園教育研究会指定研究発表 「心豊かに育ち合う子どもの育成 ～身近な人とのつながりを通して～」
令和	
元.11. 6	第121回関西幼稚園・こども園連合会教育研究大会京都大会発表
8. 7.10	創立70周年記念行事挙行

2. 教育

（1）幼稚園教育目標

やさしさ・豊かさ・たくましさをもった子どもの育成

（2）本園のめざす幼児像

- ・心も身体も健康な子
- ・互いの良さを認め合える子
- ・夢中になって遊べる子
- ・やさしさ、思いやりのある子

（3）教育方針

- ・見通しをもって活動に取り組んだり、目的に向って最後までやり遂げたりする満足感や達成感を味わう。
- ・友達との関わりを通して、相手の思いに気付いたり、認め合ったりしながら人とつながる喜びや思いやりの気持ちを育む。
- ・経験したことや考えたことを自分なりに表現したり、絵本に親しんだりする中で、豊かな感性や表現力を養う。
- ・様々な体験を通して、好奇心や探究心を育む。
- ・小学校教育への円滑な接続に向けて、子どもの学びや生活の連続性を踏まえた連携を図る。

木津川市立相楽幼稚園



相楽幼稚園園歌

作詞 吉岡 守
作曲 吉中 俊道

一、おそらにおひさまぼっかぽか
おはなもゆれてるにっこにこ
みんななかよしだのしいな
さがなかさがなかようちえん

二、おにわにぶらんこぎっこぎこ
すべりだいだよすなやまだ
みんなげんきなこたのしいな
さがなかさがなかようちえん

三、おへやにせんせいおともだち
おはなしおゆうぎターランラン
みんなかんがえるたのしいな
さがなかさがなかようちえん

郵便番号 619-0222
所在地 京都府木津川市相楽清水1番地
電話 (0774) 72-1822
FAX (0774) 72-0666
E-mail saga-yo@city.kizugawa.lg.jp

1. 園の沿革

昭和

- 52. 4. 15 相楽小学校附属幼稚園として開園
- 53. 4. 25 完全給食実施
- 54. 4. 5 園舎増築（プレハブ1教室）
- 8. 23 京都府教育課程研究発表
「幼児に自発的・自主的な活動を促すためには、どのように環境を構成し、どのような指導上の配慮や工夫が必要か。」
- 57. 2. 27 園舎新築完成
- 4. 1 専任園長制となる
- 11. 5 第30回京都府美術教育研究大会
「自分の目と心と頭と手を通してつくるよろこびを、ゆたかな創造性とたしかな表現をめざして」
- 62. 1. 26 山城地方学校安全研究協議会提案
「幼児の安全能力を育てる ―自分で判断し機敏に行動できる子をめざして―」
- 2. 25 創立10周年記念式典挙行
- 3. 1 高の原地区の園児送迎の通園バス運行
- 11. 11 山城地方公立幼稚園教育研究会指定園研究発表
「環境を生かし精一杯とりくむ子どもを育てよう」

平成

- 元. 3. 31 高の原幼稚園開園のため通園バス運行中止
- 4. 1 園名 木津町立相楽幼稚園と変更
- 6. 4. 1 吐師・木津川台地区の園児送迎の通園バス運行
- 7. 5 京都府公立幼稚園PTA連絡協議会・山城地方公立幼稚園PTA連絡協議会、総会並びに研修会開催
- 9. 2. 1 創立20周年記念式典挙行
- 4. 1 3年保育試行実施（1学級20名）
- 10. 4. 1 3年保育試行2年目実施（1学級20名）
- 11. 4. 1 3年保育実施（1学級20名）
- 13. 4. 1 歯・口の健康づくり推進事業指定（3年間）
- 15. 10. 23 歯・口の健康づくり推進事業指定研究発表会（公開保育・実践発表）
- 16. 4. 1 幼稚園評議員制度実施（2名に委嘱）
- 11. 12 全国学校歯科保健研究大会 幼稚園・保育園部会で実践報告
「しなやかな心と体の健康をはぐくむ」
- 18. 12. 5 創立30周年記念式典挙行
- 19. 3. 12 木津川市誕生により木津川市立相楽幼稚園と改称
- 20. 10. 29 平成19・20年度京都府公立幼稚園教育研究会研究指定園、研究発表
「自分が好き 友達が好き 幼稚園が好き」
- 26. 10. 23 全国国公立幼稚園長会特別事業近畿ブロック研修会発表
- 27. 1. 26 山城地方学校安全研究協議会実践発表
- 29. 1. 10 創立40周年記念式典挙行

令和

- 8. 10. 28 創立50周年記念式典挙行

2. 教育

「やさしさ」と「豊かさ」そして「たくましさ」をもった子どもの育成をめざし、友だちとともに生活する楽しさを味わわせながら、人格形成の基礎を培う。

(2) めざす幼児像

さわやかなあいさつをする子

がんばりぬく子

なかよくできる子

かんがえる子

のびのびと行動できる子

こころもからだも丈夫な子

(3) 基本方針(指導の重点)

◆ 幼児期の特性を踏まえ、遊びを通して総合的な指導を進める。

- ・ 基本的な生活習慣や態度を育て、しなやかな心と体を育てる。
- ・ 多様な体験や遊びを通して、自らやろうとする意欲や豊かな心情など生きる力の基礎を培う。
- ・ 自然・人・社会とつながる喜びを味わえるような遊びを充実する。
- ・ 人とのかかわりに重点をおき、幼児期における人権感覚や人権意識の芽生えに努める。
- ・ 「聞く」「話す」「伝え合う」ことの喜びを味わえるような体験を充実し、コミュニケーション能力の育成に努める。
- ・ 家庭や地域との連携を密にし、信頼関係を深める。
- ・ 小学校への円滑な接続に向けた保幼小連携教育の推進を図る。

木津川市立木津小学校



木津小学校校歌

作詞・作曲 桜井武雄

一

歴史にかおる 山城の
ぼくたち 木津の小学生
大地をふんで 胸はって
明るく強く 育ちます
木津 木津 木津
木津小学校

二

木津川鹿背山 友として
わたしら 木津の小学生
朝夕かよう この道に
木津小学校 待ってます
木津 木津 木津
木津小学校

三

平和の鐘の 鳴りひびく
木津の子どもは 日本の子
仲よく笑って 手をつなぎ
元気に今日も 学びます
木津 木津 木津
木津小学校

郵便番号	619-0217
所在地	京都府木津川市木津町内垣外95番地
電話	0774-72-0038
FAX	0774-72-3852
E-mail	kizu-es@kizu.ed.jp
HP・URL	http://www.kizu.ed.jp/kizu-es/

I 沿革

- 明治 5 木津小学校として創立
19 木津尋常小学校と改称
28 鹿背山及び梅谷分教場設置
34 高等科を併置し木津尋常高等小学校と改称
- 大正 11 講堂新築
- 昭和 9 木造 2 階建本館落成
16 木津国民学校と改称
22 木津小学校と改称、両分教場を鹿背山・梅谷分校と改称
23 学校給食開始
29 創立 80 周年記念式典挙行
32 木津小学校附属幼稚園開園 鉄筋南校舎落成式
33 第 7 回保健体育優良校として表彰される
障害児学級開設
36 全日本健康優良学校府代表として表彰される
39 学校給食優良校として文部大臣表彰
40 健康教育及び理科教育により学研教育賞を受ける
42 府道徳研究発表会開催
43 文部省指定道徳教育研究発表会開催
45 トランペット鼓隊、万国博エキスポランドに特別出演
48 創立 100 周年記念式典挙行
52 道徳教育研究発表会開催（文部省）
本館増改築により鉄筋 3 階校舎竣工
53 京都府学校安全優良校として表彰される
学校安全優良校として文部大臣表彰を受ける
日本 P T A 全国協議会長賞受賞
54 金銭教育研究校の委嘱を受ける（～55 年）
優良「子ども銀行」として大蔵大臣及び日本銀行総裁表彰
健康安全教育研究発表会開催（府教育委員会委嘱）
55 東校舎新築
56 体育館及び屋上プール竣工
57 優良 P T A として文部大臣表彰を受ける
59 みどりの広場（中庭）造園完成
62 交通安全優良校として府交通安全協会より表彰される
府教育委員会より小学校教育実践推進校（図工）の指定を受ける
63 国体なぎなた競技開会式にマーチングバンド、カラーガーズ等出場
- 平成元 梅谷分校休校
2 府社会福祉協議会より社会福祉協力校の指定を受ける（～4 年）
4 府小学校教育研究会生活科研究大会開催
6 全国都市緑化京都フェアオープニングパレードに金管バンド出場
7 京都小学校金管バンドフェスティバルに参加
梅谷分校閉校式並びに記念碑除幕式

金銭教育研究校の指定を受ける（～9年）

中国天津市より友好使節団来校

- 8 本館2階にコンピュータ室開設、児童用コンピュータ20台設置
相楽郡通級指導教室開設

- 10 府教育委員会指定「教育実践パイロット校（情報教育）」研究発表会開催
校門改装

- 11 よい歯の表彰を受ける

- 13 21世紀記念航空写真撮影

- 15 国際理解教育学校公開実施

- 16 校区安全対策協議会（ネットワーク）発足

- 17 町指定国際理解教育（英語活動）学校公開実施

- 18 文部科学省より「人権教育総合推進地域事業」の指定を受ける

木津川市誕生に伴い木津川市立木津小学校と改称する（19. 3. 12）

- 19 「人権教育総合推進地域事業」・「心の教育実践研究校」中間報告会開催

- 20 「人権教育総合推進地域事業」人権教育研究大会開催

- 21 文部科学省指定「道徳教育実践研究事業」推進校

木津川市教育委員会指定「道徳教育研究推進校」中間発表会開催

南校舎耐震工事完了

- 22 文部科学省指定「道徳教育実践研究事業」

木津川市教育委員会指定「道徳教育研究推進校」研究発表会開催

- 23 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

- 24 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

京都府教育委員会「京の未来創造校」指定校

- 25 京都府教育委員会「京の未来創造校」指定校

木津川市 ICT 機器研究指定校

- 26 城山台小学校開校に伴い、鹿背山分校閉校

市教育委員会指定「教育実践推進校」公開授業実施

- 28 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

- 29 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

- 30 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

- 令和元 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

- 2 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

- 3 文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」参加校

木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校 研究発表会開催

- 4 創立150周年

木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

- 5 新校舎供用開始

新校舎竣工・創立150周年記念式典挙行

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）開設

- 6 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

- 7 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校 研究発表会開催

全国河川教育実践研究会 京都大会開催

- 8 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

2 教育

(1) 教育目標

「たくましく心豊かに生きぬく児童の育成」

(2) 目指す児童像

- よく考える子
- なかよくする子
- たくましい子

(3) 本年度最重点課題

◎自律と協働に基づく確かな学力の育成

(4) 学校経営方針（中期経営目標）

① 未来を切り拓く教育の推進

自己決定し実行できる自律性と協働で解決策を生み出す意欲をもち、自ら未来を切り拓いていくための基盤となる資質・能力を育成する。

② 学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の展開

公教育に課せられた使命と職責のもと、言語活動の充実を図り学力の向上をめざす取組を進めるとともに、一人一人の可能性を最大限伸ばす教育を推進する。

③ 教育目標の具現化

教育目標の具現化に向けて、各教育活動において整合性のとれた活動計画を立案し実行する。また、都度評価し改善を図る。

④ 教師力の向上と協働体制の確立

教職員一人一人が、自己の『教師力』の向上に努め、適正やよさを十分発揮するとともに、全教職員一体となって課題解決に当たる。

⑤ 家庭・地域社会との連携強化

伝統ある学校として家庭や地域と心を通わせながら、校区の持つよさを積極的に生かした特色ある学校づくりを進める中で、教育目標の達成に迫る。

(5) 学校経営の重点

- ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な授業実践による確かな学力の向上
- ② 人権教育・道徳教育・生徒指導を中心とした、多様性を尊重し合う心の教育の充実
- ③ 健やかな体の成長と健康で安全に生きぬく実践力の育成
- ④ 「持続可能な社会」を創る、社会の形成者としての資質・能力の育成
- ⑤ 学校の組織力と教職員の資質向上
- ⑥ 地域を学び、家庭・地域とともに生きる教育の推進

(6) 本年度重点研究

テーマ 「子どもが自走する質の高い探求的な学びの推進」
～つなげる力・つながる力の育成を目指して～

木津川市立相楽小学校



相楽小学校校歌

作詞 鳴原一穂
作曲 前田卓央

一 晴れた空から 小鳥の歌だ
歌に合わせて 跳ねて踊れば
相楽校は 花咲く園だよ
ああ 明るい

二 雪に風に 鍛えて練って
強い身体で 勉強学ぶよ
相楽の子は 伸びゆく若木よ
ああ 楽しい

三 胸に太陽 しっかりと抱いて
歩む足並 とりあう手から
相楽の子に ひらける未来だ
ああ 明るい

郵便番号 619-0222
所在地 京都府木津川市相楽清水1番地
電話 (0774) 72-0221
FAX (0774) 72-0280
E-mail saganaka-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/saganaka-es/>

1. 沿革

- 明治6 初めて校舎を相楽郡吐師村小字郷和田に設立
- 9 大字里に相楽校を開校
- 22 町村制度の実施に伴い従来の吐師校を廃止して相楽校に合併する
相楽尋常小学校と改称
- 29 校舎改築竣工
- 昭和4 中校舎竣工
- 12 講堂新築
- 16 相楽国民学校と改称
- 22 相楽村立相楽小学校と改称
- 26 町村合併により木津町立相楽小学校と改称
- 33 新校舎改築竣工（鉄筋二階建、木造二階建、南校舎移転）
- 34 歯科治療器設置
- 35 プール竣工、完全給食開始（A型）
- 42 交通安全優良校受賞（府交協）、第12回学研教育賞受賞、優良児童会受賞（消防庁長官）
- 43 歯の健康について研究発表（全学歯大会）、優良育友会受賞（府P連）
- 44 5年連続よい歯の学校表彰受ける（日学歯会）
歯の健康について研究発表（全学歯大会）
- 45 優良育友会受賞（文部大臣）、講堂移転、体育倉庫新築、全国特選健康優良校受賞
- 46 奥村賞受賞
- 47 第2回京都府小学校図書館教育研究大会開催
- 48 文化財愛護図画習字コンクールで学校賞受賞（山城文化財愛護協議会）
創立百周年記念祝賀式挙行（記念碑設立、記念植樹八重桜20本）
- 49 10年連続よい歯の学校受賞、第38回全国学校歯科保健大会開催
全国花いっぱいコンクール優良賞受賞
- 50 昭和50・51年度道徳教育共同推進校指定（文部省）
- 51 校地を拡張し南校舎竣工（鉄筋二階建、普通教室5・特別教室3）
学校保健講習会で研究発表、家庭科研究発表大会開催（府小教研）
- 52 道徳教育研究発表大会開催（文部省・京都府）、台北市教育視察団学校訪問
- 53 本館（北校舎）と南校舎間に中校舎竣工（鉄筋三階建、普通教室10、特別教室5）
障害児学級（2学級）開設、体育館完成
- 56 プール竣工（6コース・低学年用プール）
- 60 北校舎木造4教室改築59年7月着工、2月完成
- 61 正面拡張改修61年8月25日完成、社会福祉協力校（福祉教育実践校）
- 62 子ども銀行、日銀総裁大蔵大臣賞受賞、保健室改修 社会福祉協力校2年次（福祉教育実践校）
- 63 社会福祉協力校3年次（福祉教育実践校）、用務員室・教職員更衣室改修
- 平成元 北校舎改修及び改築 ふるさと交流学習促進事業1年次（文部省委嘱）
図書館教育研究大会（府小教研）
- 2 ふるさと交流学習促進事業2年次（文部省委嘱）第7回京都府歯科保健文化賞受賞
- 3 よい歯の表彰及び動物愛護賞受賞、3・4年度心身障害児理解推進校指定
- 4 文部省指定「心身障害児理解推進校研究発表会」、観察池・放送設備全面改修
交通安全運動及びよい歯の表彰受ける
- 5 よい歯の表彰受賞、心身障害児理解推進校視察来校多数、心身障害児理解推進校の取組
について文部省より感謝状を受ける

- ふるさと交流学習として、6年修学旅行で丹後町間人小学校訪問開始
南山城養護学校との交流教育継続
- 6 学校文化芸術祭・小中学校音楽フェスティバル出演（住友ホール）よい歯の表彰受賞
南山城養護学校との交流教育継続
- 7 プール浄化装置改修、塗装（全面塗装）運動場全面改修（総合遊具設置）
南山城養護学校との交流教育
- 8 コンピュータ教室の設置
- 9 中国天津市児童使節団来校
- 10 平成10・11年度京都府教育委員会指定教育実践パイロット校（生活科）
- 11 平成10・11年度京都府教育委員会指定教育実践パイロット校（生活科）研究発表会
平成11年度木津町教育委員会指定国際理解教育交流発表会
南山城養護学校との交流教育
- 12 木津町PTA会長校となる
- 13 平成13・14年度文部科学省歯・口の健康づくり研究推進指定校
南山城養護学校との交流教育
- 14 健やか賞受賞（京都府教育委員会）
文部科学省歯・口の健康づくり研究発表会（於：本校）にて授業公開
- 15 健康教育推進学校優良校表彰（日本学校保健会）
創立130周年記念事業・式典開催
- 16 京都府キャリア教育推進地域指定
お話ルーム設置
- 17 平成17年度「人権の花」運動実施校
- 18 人権教育総合推進地域事業推進協力校（～20年度）
キャリア教育実践に関わる文部科学省表彰 キャリア教育実践報告会開催
- 19 木津川市誕生に伴い、木津川市立相楽小学校と改称
- 20 人権教育総合推進地域指定事業発表会開催
- 21 よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
第73回全国学校歯科保健研究大会で本校の取組発表
山城地方PTA連絡協議会会長校となる
- 22 第27回京都府歯科保健文化賞受賞
府歯科医師会から歯科保健文化賞に伴う感謝状受賞 よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
北校舎耐震工事・飼育小屋の設置、緑化推進事業を受け、植樹
- 23 中校舎・体育館耐震工事、よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
- 25 木津川市PTA会長校となる140周年記念航空写真を撮影
第24回相楽地方小学校体育連盟駅伝（持久走）大会 優勝
- 26 第25回相楽地方小学校体育連盟駅伝（持久走）大会 優勝
第9回やましろ未来っ子小学校EKIDEN 優勝
- 27 相楽小学校区保幼小接続推進会議発足 保幼小連携接続カリキュラムを作成
- 28 第55回全日本学校歯科保健優良校 奨励賞受賞
- 令和元 京都府教育委員会指定校「課題解決型授業（アクティブラーニング）推進事業」
- 2 第59回全日本学校歯科保健優良校 奨励賞受賞
- 4 令和4・5・6年度算数科研究協力校（京都府小学校教育研究会）
- 5 創立150周年記念事業・式典開催
- 6 北校舎竣工 5月

2. 教 育

(1) 学校教育目標

「未来に希望を持ち、心豊かで主体的に生きぬくさがらっ子」

(2) 目指す児童像

『かんがえる子』

『おもいやりのある子』

『たくましい子』

(3) 研究主題

「自分の考えを伝え、友達の考えを受け入れる児童の育成 ～学び合おう・つながろう～」

(4) 学校経営方針

ア 新しい時代を拓く教育の推進

急激な社会の変化に対して、一人一人の可能性を伸ばし、多様な幸せを実現するため、自分で考え、人と関わりあいながら学び、自己調整しながら最後までねばり強くやり通す力を育み、困難なことがあっても乗り越えていくことのできるさがらっ子を育てていく。その具体的な方策として、授業における学びあいを実践し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。人との関わりあいや対話を通して得られる様々な気づきが人を育てる本質を重視し、学ぶことの楽しさを実感させる。また、学校行事等を精選しながら教育活動を進める。

イ 学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の展開

学習指導要領の趣旨を理解し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す取組を組織的に進め、教育活動全体において確かな学力の育成を図るとともに、一人一人の個性を伸ばす教育を推進する。

ウ 協働体制の確立

教職員一人一人が人事評価制度の活用などを通して自己の資質能力の向上に努め、全教職員一体となって課題解決にあたる。(チーム相楽)

エ 特色ある学校づくり

伝統や文化、校風、ふるさとを大切にしつつ、校区の持つ良さを積極的に生かした特色ある学校づくりを進め、教育の活性化を図る。

オ 家庭・地域社会との連携強化

学校、家庭、地域社会との連携で教育機能を高め、開かれた学校、信頼される学校づくりを推進する。コミュニティスクールの運営により、地域・保護者との連携をさらに強める。

(5) 重点目標

ア 確かな学力の育成

- ・主体的・対話的で深い学びのある授業を目指した工夫改善を進め、児童自らが課題を見つけ、学びあいによって解決していこうとする授業を創る。
- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
- ・学力分析と児童の見取りを丁寧に行い、個別指導を充実させる。
- ・家庭との連携を進め、学習習慣の定着を図る。
- ・ICT の活用等を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な授業実践に努める。

イ 豊かな心と健やかな身体の育成

- ・生徒指導、特別活動（学級活動）並びに道徳科を核として、学級・学年の集団づくりを進めるとともに豊かな心と温かい児童相互の人間関係を育成する。
- ・体験的な学習や異年齢集団（スマイルグループ）の活動を充実させる。
- ・不登校傾向の児童のアセスメントを充実させる。支援体制を整え、学びルームを効果的に活用する。
- ・いじめや暴力を許さない学級・学校づくりを徹底する。
- ・運動する機会の充実と健康的な生活習慣を確立し、課題への対応を図る。

ウ 地域に開かれた魅力ある学校づくり

- ・地域の自然、文化や歴史を大事にし、地域の学校として家庭や地域社会と連携を図り、ふるさとに誇りと愛着を持つ児童を育てる。
- ・地域の教材、人を活用した教育活動の充実を図る。
- ・家庭、地域への情報発信に努める。
- ・コミュニティスクールの運営を充実させ、学校・家庭・地域の協力体制を強化する。

(6) 具体的方針

ア 「個別最適な学び」と「協働的な学び」

- ・児童一人一人に確かな学力を育成するために、基礎・基本の徹底を図るとともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な授業実践に努める。（全国学力・学習状況調査や京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～、木津川市統一学力テスト等の学力分析を適切に行い、研修及び実践の場で活用する）

イ 多様性を尊重し合う豊かな人間性

- ・児童の心に響く道徳科の学習を目指し、魅力的な資料の活用や指導方法の工夫により、児童の道徳的実践力を育成する。
- ・読書活動を充実させ、読書意欲の向上や読書習慣の形成に努めるとともに、学習・情報センターとしての学校図書館の有効な活用を図る。
- ・地域や学校の実態を踏まえた人権教育推進計画を策定し、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題についての正しい理解と人権についての実践的態度を育成する。
- ・特別な教育的支援を必要とする児童の教育的ニーズに対応できる特別支援教育の推進を目指して、指導方法の工夫に努め、全教職員の共通理解のもとで取組を進める。

ウ 健やかな体の成長

- ・食に関する指導を通して、望ましい食習慣の形成や人間関係の育成を図る。
- ・健康の保持増進にかかる取組を推進するため、組織体制を整備し、現代的課題の対応を含む保健管理と保健教育を推進する。

エ 持続可能な社会を築く生きる力

- ・特別活動の時間を核として、児童一人一人の発達段階に応じた、組織的系統的なキャリア教育を推進する。
- ・教育活動全体を通じて、一人一台のタブレットを積極的に利用し、情報活用能力の育成を図るとともに、デジタル教科書の活用やプログラミング教育を推進する。
- ・各教科、道徳、総合的な学習の時間、外国語等における国際理解に関わる指導内容を踏まえ、グローバル化に対応できる実践を行う。
- ・身近な環境や環境問題に関心を持ち、日常生活の中で活かせるよう環境教育を計画的に推進する。
- ・避難訓練や各種の防犯、防災学習の充実を図り、児童一人一人の危機管理能力を育成する安全教育や危機管理マニュアルに基づく取組を推進する。

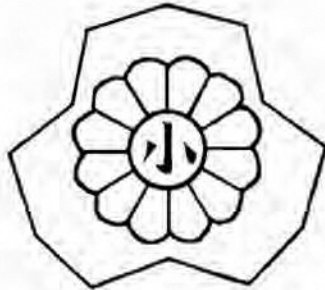
オ 学びを支える教育環境の整備

- ・子どもを取り巻く環境を的確に把握し、生活習慣や学習習慣の確立を図る。
- ・経験及び職能に応じた研修を進めるとともに、教職員がより協働できる体制づくりを推進する。
- ・教職員と児童及び児童相互の心のふれあいを大切にし、深い信頼関係、好ましい人間関係の育成に努める。

カ 地域を学び、家庭・地域とともに生きる

- ・学校、家庭、地域社会との連携で教育機能を高め、開かれた学校、信頼される学校づくりを推進する。
- ・地域の自然や歴史・伝統について学び、地域資源の活用を図る。

木津川市立高の原小学校



高の原小学校校歌

作詞 木村良子
作曲 石崎照代

一、流れも清き 木津川を
はるかにのぞむ この丘に
夢と希望を 語りつつ
心豊かに 伸びていく
高の原小学校

二、明るい声の ひびき合う
木せいとおる 学び舎に
人の真実を 求めつつ
技をみがきて 育ちゆく
高の原小学校

三、輝く太陽 そよぐ風
緑あふれる この道に
世界の友と はげみつつ
歴史と文化 創りゆく
高の原小学校

郵便番号	619-0224
所在地	京都府木津川市兜台四丁目4番地1
電話	(0774) 72-8737
FAX	(0774) 72-8739
E-mail	takanohara-es@kizu.ed.jp
HP・URL	http://www.kizu.ed.jp/takanohara-es/

1. 沿革

昭和

- 61. 4. 1 木津町立高の原小学校開校（児童数58名）
- 62. 3. 20 第1回卒業証書授与式（卒業生11名）

平成

- 元. 1. 10 京都府学校給食優良校努力校受賞
- 2. 3. 26 北校舎9教室増築
- 9. 20 歯の健康診断優良校受賞
- 11. 1 学校給食文部大臣賞受賞
- 11. 20 京都府教育実践推進校指定 学校給食研究発表会
- 3. 1. 25 京都府学校給食優良学校賞受賞
- 3. 1 高の原小学校校歌制定
- 5. 3. 31 木津町立相楽台小学校開校に伴い児童132名転学
- 7. 4. 1 PTA発足
- 11. 18 創立10周年記念式典挙行
- 8. 5. 16 中国天津市児童使節団との交流学习
- 9. 10. 9 コンピュータルーム設置（21台設置）
- 10. 1. 19 京都府学校安全努力学校受賞
- 4. 1 障害児学級「ねむの木」開設
- 12. 4. 1 木津町国際理解推進事業指定校
- 13. 2. 8 国際理解教育学校公開
- 4. 1 平成13・14年度小学校教育実践パイロット校（道徳）指定
- 6. 1 創立15周年記念航空写真撮影
- 14. 2. 1 小・中学校教育実践パイロット校教育局別実践交流会（於 本校）にて授業公開
- 4. 1 障害児学級「ねむの木2組」（情緒障害児学級）開設
- 11. 16 平成14年度「さわやか賞」受賞
- 11. 26 京都府教育委員会教育実践パイロット校「道徳教育」並びに木津町教育委員会研究指定校「道徳教育」研究発表会
- 15. 3. 31 「道徳教育の展開」出版
- 7. 22 京都中央信用金庫「かがやき賞」受賞
- 12. 5 「道徳教育」授業研究会
- 16. 12. 24 「高の原子ども安全ネットワーク会議」発足
- 17. 2. 26 創立20周年記念事業バザー
- 6. 15 創立20周年記念航空写真撮影
- 11. 12 創立20周年記念行事
- 12. 1 木津町教育委員会研究指定校 算数科授業公開・研究協議会
- 18. 11. 2 京都府健康教育推進優良校「健やか奨励賞」受賞
- 19. 1. 25 木津町教育委員会研究指定校 算数科授業公開・研究協議会
- 3. 12 木津川市誕生により、木津川市立高の原小学校に改称
- 4. 1 京の子ども夢・未来校（「やましろ未来っ子」研究推進校）指定
木津川市教育委員会研究指定校
- 11. 1 山城地方夢・未来教育実践交流会 公開授業
- 20. 4. 1 全国学力・学習状況調査等を活用した学校改善の推進に係る実践研究校
京の子ども夢・未来校（「やましろ未来っ子」研究推進校）並びに木津川市教育委員会研究指定校 研究発表会
- 10. 23
- 21. 4. 1 第2期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成21年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
- 22. 4. 1 第3期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成22年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
- 6. 9 創立25周年記念航空写真撮影
- 11. 30 木津川市教育委員会研究指定校 国語科授業公開・研究協議会

23.	4.	1	第4期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成23年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
24.	4.	1	第5期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成24年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
25.	4.	1	第6期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成25年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
26.	4.	1	第7期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成26年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
27.	4.	1	第8期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成27年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
	5.	11	木津川市特色ある学校づくり推進校指定
28.	4.	1	第9期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成28年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
29.	4.	1	第10期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成29年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
	5.	11	山城地方学校力向上トライアル校指定 木津川市特色ある学校づくり推進校指定
30.	4.	1	第11期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成30年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
31.	4.	1	第12期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成31年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
令和			
2.	4.	1	第13期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和2年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
3.	4.	1	第14期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和3年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
4.	4.	1	第15期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和4年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
5.	4.	1	第16期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和5年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
6.	4.	1	第17期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和6年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
7.	4.	1	第18期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和7年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
7.	5.	27	創立40周年記念航空写真撮影
8.	4.	1	第19期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 令和8年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定

2 教育

(1) 教育目標

「ひとりだち」

— 変化の激しい社会に対して、自ら柔軟かつ的確に対応できる「生きる力」の育成 —

(2) めざす児童像

か し こ く (知) 学力の充実・向上

や さ し く (徳) 豊かな人間性と社会性の育成

た く ま し く (体) 健やかな体づくりの推進

(3) 教育方針（中期経営目標）

学習指導要領、第2期京都府教育振興プラン及び第2次木津川市教育振興基本計画等に基づく学校運営

ア 豊かな学びの創造と確かな学力の育成（かしこく）

イ 豊かな人間性・社会性の育成と多様性の尊重（やさしく）

ウ 健やかな体づくりの推進（たくましく）

エ 地域・保護者から信頼される学校づくり（開かれた学校）

オ 健康で目標を持って挑戦する教職員の育成・資質向上（人材育成）

(4) 本年度の重点目標（短期経営目標）

ア 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、確かな学力（思考・判断・表現力）を育成する。

イ 道徳や人権学習、特別支援理解学習等を推進し、多様性を認め合い、人を思いやり尊重する心を育てる。

ウ 体力の向上及び健康・安全教育を通して、自分の体について知り、大切にしようとする意欲を持った心身ともに健康でたくましい児童を育てる。

エ 個別の教育支援による特別支援教育及び組織的な教育相談等を通して、一人一人の児童のニーズに応じた学びの場、学び方を工夫する。

オ 地域の歴史や地理について理解を深め、地域とのつながりを作り、郷土への誇りをはぐくむ取組を推進するとともに、保護者や地域に開かれた、魅力ある学校づくりを推進する。

カ 教職員の資質向上のための研修の充実と業務内容の改善、働き方の見直しを進める。

(5) 重点研究

「主体的・対話的な『話す力』の育成」

～話し合いによって思考を広げ、深める児童をめざして～

ア 重点領域 話し合い活動

イ 研究主題 「主体的・対話的な『話す力』の育成」

～話し合いによって思考を広げ、深める児童をめざして～

ウ 研究組織 研究推進委員会を中心に、専門研究部（全校的な取組）及び低・中・高学年ブロック（授業研究）を編成し取組を進める。

木津川市立相楽台小学校



相楽台小学校校歌

作詞 西田 義忠
作曲 森本 陽三郎

一 ふるさとの

はるかな歴史 しのばせて
木犀かおる 木津の野辺
心とからだ すこやかに
みんな仲よく 学びます
わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

二 夢うかべ

千古の流れ とうとうと
水面きらめく 木津の川
共に手を取り おおらかに
真実の道を 歩みます
わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

三 あたらしい

世紀に映える けいはんな
文化学術 拓くまち
未来をになう よろこびに
理想の花を 咲かせます
わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

郵便番号 619-0223
所在地 京都府木津川市相楽台5丁目17番地1
電話 (0774) 72-4005
FAX (0774) 72-4400
E-mail saganakadai-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/saganakadai-es/>

1. 沿革

平成

- 5. 4. 1 木津町立高の原小学校より、分離・独立し、開校する（4月5日開校式）
- 5. 4. 1 平成5・6・7年度国際理解教育推進モデル校として指定を受ける（京都府教育委員会、木津町教育委員会）
- 5. 4. 7 第1回入学式（入学生39名）児童数190名
- 5.10. 8 アメリカ、オレゴン州教育視察団学校訪問
- 6. 3.12 近畿テレビ「教育の窓」で本校の国際理解教育放映
- 6. 3.19 第1回卒業式（卒業生28名）
- 6. 5.25 中国、天津市少年宮学校訪問
- 6.11.20 よい歯の学校表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 7.11 よい歯の学校特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 8. 3 国際理解教育3年間のまとめ冊子刊行
- 8.11.6, 14 第1回国際理解教育授業研究自主発表会
- 8.12.12 中国教育視察団学校訪問
- 9. 5.16 英国教育視察団学校訪問
- 9. 6.11 校歌発表会
- 9.10.16 全日本よい歯の学校表彰受賞（社団法人日本学校歯科医会）
- 9.11.12 第2回国際理解教育授業公開
- 10. 1.19 京都府健康優良学校努力校受賞
- 10.10.27 府小研国語部研究協力校として実践発表
- 11. 4. 1 平成11・12年度教育実践パイロット校（総合的な学習について）指定を受ける（京都府教育委員会）
- 12.11.14 教育実践パイロット校「総合的な学習」研究発表会（京都府教育委員会・木津町教育委員会）
- 13. 4. 1 国立教育政策研究所指定
平成13年度教育課程研究指定校の委嘱を受ける（「総合的な学習の時間」）
木津町教育委員会研究指定（3年次）（「総合的な学習の時間」）
- 13.11.27 「総合的な学習の時間」研究発表会
- 14. 2 コンピュータ42台設置
- 14. 5 「人権の花」運動実施校委託（京都地方法務局・京都府人権擁護委員連合会）
- 14. 8.27 学校歯科保健優良校表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
- 14. 9. 1 学校評議員制度発足
- 14.11. 6 創立10周年記念植樹
- 14.11.16 創立10周年記念式典
- 15. 3.14 「人権の花」運動感謝状伝達式
- 16. 2.27 木津町地域イントラネット基盤整備完了
- 16. 4 木津町地域イントラネット一部運用開始
- 16. 4. 1 平成16・17年度京都府教育委員会指定「京都夢・未来校」の指定を受ける（「理科」）

16. 10. 21 「京都夢・未来校」指定1年次授業公開（「理科」）
17. 11. 10 「京都夢・未来校」理科教育研究発表会
18. 11. 18 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
19. 3. 12 木津川市誕生に伴い、木津川市立相楽台小学校と改称
19. 8. 24 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
19. 11. 17 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
20. 8. 22 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
20. 11. 15 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
21. 8. 20 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
21. 11. 14 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
22. 8. 21 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
22. 11. 13 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
23. 8. 19 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
23. 11. 12 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
24. 4. 1 木津川市「栄養教諭を中核とした食育推進事業」実践中心校
24. 11. 10 ファミリー参観（国語科を中心とした伝え合う力を育む学習や取組）
25. 4. 1 「土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業」土曜教育実践研究指定校（～平成30年）
25. 5. 29 「測量の日」記念事業「測量体験学習」実施（一般社団法人 京都府測量設計業協会）
25. 11. 9 ファミリー参観（国語科を中心とした伝え合う力を育む学習や取組）
26. 4. 1 平成26・27年京都府学校給食研究会研究推進委嘱校
26. 11. 9 ファミリー参観（食育を中心とした「食 Smile・Powerful」発表会）
27. 4. 1 平成26・27年京都府学校給食研究会研究推進委嘱校
27. 11. 7 土曜活用授業日・「食 Smile・Powerful」発表会
27. 11. 17 平成27年京都府学校給食研究会京都府学校給食研究発表会
28. 11. 26 土曜活用授業日・「ことはぐ発表会」（～令和元年）
29. 4. 1 平成29・30年度京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」
文部科学省「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」研修協力校
30. 1. 20 創立25周年記念行事
30. 3. 6 創立25周年記念植樹
31. 1. 29 平成29・30年度京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」研究発表会
- 令和
1. 10. 26 土曜授業日・「ことはぐ発表会」
4. 11. 30 創立30周年記念行事

2. 教 育

(1) 教育方針

学習指導要領、「第2期京都府教育振興プラン」及び木津川市の方針に基づき、包み込まれているという感覚を土台に児童の自己肯定感をはぐくみ、「主体的に学び考える力」「多様な人とつながる力」「新たな価値を生み出す力」を身につけた、より良い社会と幸福な人生を創り出せる人間の育成に努める。

(2) 教育目標

豊かな教育活動を通して、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育み、児童に「生きる力」を培う。

ア 深く考え、主体的に見通しを持って学習に取り組むとともに、創造性あふれる児童を育成する。

イ やさしい心と豊かな感性をもち、なかよく助け合い、励まし合う児童を育成する。

ウ 何事にも責任をもって、ねばり強く最後までやりぬく児童を育成する。

エ 生命の尊さを自覚し、自他の健康安全の維持管理に努める児童を育成する。

オ 豊かな自然や文化と伝統を尊重するとともに、国際感覚を身に付けた児童を育成する。

(3) めざす児童像

ーかしこく やさしく たくましく 一生懸命やりぬく子ー

○深く考える子 ○やさしい子 ○元気な子 ○ねばり強くたくましい子

(4) めざす教師像

○愛情と厳しさをもち、児童に信頼され親しまれる教師

○健康で明るく、活動性に富んだ教師

○信頼と協調で結ばれた組織的な教師

○仕事と家庭生活とのバランスを保ちながら、常に研究と修養に励み、保護者や地域社会の信託に応える教師

(5) 経営方針

ア 基本方針

児童にとっては魅力ある学校、家庭及び地域社会にとっては開かれた学校を目指すとともに、特色ある学校づくりを通して教育の活性化を図り、児童に「生きる力」を培う。

【こんな学校に～今年度の重点事項～】

- | | |
|-----------|-------|
| ◎ 笑顔で挨拶 | 明るい学校 |
| ◎ 進んで学習 | 楽しい学校 |
| ◎ きれいにお掃除 | 美しい学校 |

イ 本年度の重点

(ア) 質の高い学力をはぐくむ

基礎・基本と共に、一人一台端末の活用や「主体的・対話的で深い学び」の充実を通して、課題解決能力を培う。

(イ) 豊かな心と規範意識をはぐくむ

互いの個性や価値観の違いを認め、望ましい集団活動を通して他者との信頼関係を築く。

(ウ) 健やかな体をはぐくむ

自発的に健康を守ろうとする態度を養う。

(エ) 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

「コミュニティ・スクール」「安全・安心ネットワーク会議」「ほっぷ広場」等と連携し、開かれた学校づくりと児童の安全確保に努める。

ウ 本年度重点研究テーマ

「主体的・協働的に学ぶ対話学習」

～豊かな想いを豊かな言葉で～

(6) 指導の重点

[質の高い学力をはぐくむ]

ア 児童が自らの学習をプログラムする授業改善を継続する。家庭学習ステップアップ週間を契機に自らの学習習慣を振り返らせる。(学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣)

イ デジタルドリルの活用を進めるとともに、モジュール学習や特色ある教育活動、放課後補習「ホップアップ学習」等を充実させる。(基礎的・基本的な知識・技能)

ウ 校内重点研究では、「豊かな想いを豊かな言葉で表現できる児童」を育成するために、主体的・協働的に学ぶ対話学習の研究を進める。(活用する力)

[豊かな心と規範意識をはぐくむ]

ア 「考え、議論する」ための中心発問や評価のあり方を軸に、多面的・多角的に自己の生き方について考えを深める授業改善を行う。(道徳教育)

イ 望ましい集団活動を通して互いの個性を認め合い、協力する楽しさを味わうことで、生徒指導の「教育的予防」を図る。(生徒指導)

ウ 学校図書館を学習情報センターとしても機能させるとともに、読み聞かせ等を活用し児童の読書の幅を広げる。(読書活動)

[健やかな体をはぐくむ]

ア アレルギーに対する児童の理解を深めるとともに、日常的な給食指導や給食週間等の取組を通して、食に対する意識を高める。(食育)

イ 年間指導計画に沿って体育科の全ての領域を計画的・段階的に指導する。休み時間や家庭でできる体力作りにも取り組む。(体力)

ウ 睡眠を含む日常指導やメンタルヘルス教育等を通して、自分の心身の健康に関心を持ち、自発的に健康を守ろうとする態度を養う。(健康)

[一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ]

ア 人権週間をはじめ、全ての教育活動において、他者を尊重しつつ自己主張する体験を通して、互いの個性や価値観の違いに気付かせる。(人権教育)

イ 通常の学級におけるユニバーサルデザイン化を推進するとともに、障害に対する理解教育を通して個性を認め合う実践力を培う。(特別支援教育)

ウ 学級活動を要とし、キャリアパスポートを活用して自己の成長に気付かせ、学ぶことと将来とのつながりを見通させる。(キャリア教育)

エ ICTも活用し、各幼保こども園と連携して児童理解を深め、交流を活性化する。貧困対策として、児童の些細な変化に留意する。(幼児期の教育・貧困対策)

[社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ]

ア 重点研究とも連動させ、一人一台タブレットを活用した学習を推進する。計画に沿い、情報モラルに対する正しい認識を育てる。(情報教育)

イ 外国語専科教員や日本語指導教員と連携し外国語教育を推進するとともに、ICTも活用しながら異文化に対する学習に取り組む。(グローバル化への対応)

ウ 美化委員会も活用しながら、校内の美化に取り組む。4年生を中心に、市環境課等と連携した環境学習を行う。(環境教育)

[魅力ある・信頼される学校をつくる]

- ア 毎週金曜日に打合せの時間を設け、ブロック学年や校務分掌等でP D C Aサイクルによる取組推進が行えるようにする。(学校の組織力と教職員の資質)
- イ 国語科を中心とした「それぞれの想いを発信し、対話力を磨く児童」の育成、コミュニケーション力の育成の研究を通して、特色ある学校を創る。(学校づくり)
- ウ 毎月の点検を軸に安全な環境の維持・改善に努めるとともに、地域学校協働本部等の地域の協力を仰ぐ。(教育環境)

[地域の力を活かして子どもをはぐくむ]

- ア 保護者の悩みを丁寧に聞き、S CやS S W、南山城相談支援センター等と連携しながら保護者支援を図る。(子育て支援)
- イ 「家庭学習の手引き」や学校・学年・学級だより、H P、学級・個人懇談会等を通して、家庭教育に関する情報を提供する。(家庭教育支援)
- ウ 土曜参観で「子ども110番の家」を実際に見に行く等、児童自らが安全について考える機会を設ける。地域ぐるみの安全対策を講じる。(安全対策)

[地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ]

- ア 教職員が、相楽台地域や木津川市を知るための研修を計画・実施する。そこで学んだことを、授業改善に還元していく。(自然・歴史についての学習)
- イ 読み聞かせボランティア等、これまでの地域人材の方々に引き続きご協力いただくとともに、新たな地域資源を探る。(地域資源)

木津川市立木津川台小学校



木津川台小学校校歌

作詞 丹田長史
作曲 坂元秀樹

一、豊かな自然 輝く文化

希望に満ちた 木津川台は
みんな仲良く はげみ合い
明るく強く すくすく伸びる
未来を見つめ 学ぼう共に

二、明日を開く 輝くいのち

楽しさ一杯 木津川台は
みんな一緒に 助け合い
明るく強く 元気に育つ
やさしい友と 学ぼう我ら

三、真理を求め 輝くこころ

歴史を創る 木津川台は
みんな元気に 鍛え合い
明るく強く 豊かに生きる
世界の友と 学ぼう共に

郵便番号 619-0225
所在地 京都府木津川市木津川台2丁目4番地
電話 (0774) 73-2418
FAX (0774) 73-2420
E-mail kizugawadai-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizugawadai-es/>

1. 沿革

平成3年	4月 1日	木津町立木津川台小学校開校 児童数 56名
4年	3月 7日	前庭時計台設置
	5月 1日	児童数 87名
5年	5月 1日	児童数 97名
6年	2月 26日	校歌発表会開催
	5月 1日	児童数 126名
7年	4月 1日	ふるさと交流学習促進事業1年次 (文部省委嘱、京都府教育委員会指定校)
	5月 1日	児童数 151名
	8月 6日	丹後町立竹野小学校との宿泊交流(於竹野小学校)
8年	4月 1日	ふるさと交流学習促進事業2年次 (文部省委嘱、京都府教育委員会指定校)
	5月 1日	児童数 155名
	7月 22日	丹後町立竹野小学校との宿泊交流(於木津川台小学校)
	11月 1日	コンピュータ 22台設置
	11月 29日	国際理解促進事業として留学生と交流
9年	3月 6日	国際理解促進事業として留学生と交流
	5月 1日	児童数 199名
10年	4月 1日	国際理解教育推進事業(木津町教育委員会指定校)
	5月 1日	児童数 251名
11年	2月 18日	国際理解教育交流発表会開催
	2月 26日	全国教育美術展地区学校賞受賞
	5月 1日	児童数 307名
12年	4月 1日	特別支援学級設置
	5月 1日	児童数 338名
	11月 18日	創立10周年記念式典
13年	3月 31日	特別支援学級廃止
	5月 1日	児童数 368名
14年	5月 1日	児童数 428名
15年	4月 1日	特別支援学級設置 木津町教育委員会指定教育実践研究校(国際理解教育) 豊かな体験活動推進事業(「地域間交流」)として京都府より 委託、地域交流推進校として指定(15・16年度)
	5月 1日	児童数 465名
		全国J A小中学校交通安全ポスターコンクールで学校賞受賞
16年	4月 1日	京都府豊かな体験活動推進事業地域交流推進校指定(2年次) 国際理解教育推進事業(木津町教育委員会指定校)
	5月 1日	児童数 499名
	11月 26日	「英語活動」研究発表会開催
17年	5月 1日	児童数 543名
18年	4月 1日	人権教育総合推進地域事業推進協力校(文部科学省指定)
	5月 1日	児童数 599名

19 年 3 月 12 日	三町合併による木津川市移行のため、 「木津川市立木津川台小学校」に名称変更
4 月 1 日	人権教育総合推進地域事業推進協力校（2 年次）
5 月 1 日	児童数 620 名
10 月 25 日	平成 19 年度学校安全優良校表彰
12 月 8 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
20 年 4 月 1 日	人権教育総合推進地域事業推進協力校（3 年次）
5 月 1 日	児童数 625 名
12 月 6 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場（4 位入賞）
21 年 5 月 1 日	児童数 650 名
12 月 5 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
22 年 3 月	増築校舎完成
5 月 1 日	児童数 672 名
11 月 12 日	創立 20 周年記念学習発表会
12 月 4 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
23 年 5 月 1 日	児童数 682 名
12 月 3 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
24 年 5 月 1 日	児童数 674 名
25 年 5 月 1 日	児童数 683 名
12 月 7 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
26 年 5 月 1 日	児童数 649 名
12 月 6 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
27 年 5 月 1 日	児童数 620 名
8 月 31 日	体育館天井耐震工事終了 児童トイレ洋式化工事終了
11 月 12 日	創立 25 周年航空写真撮影
12 月 5 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場（優勝）
28 年 5 月 1 日	児童数 579 名
12 月 3 日	山城未来っ子 E K I D E N 出場
29 年 5 月 1 日	児童数 529 名
30 年 5 月 1 日	児童数 495 名
令和元年 5 月 1 日	児童数 446 名
2 年 5 月 1 日	児童数 401 名
11 月 10 日	創立 30 周年航空写真撮影
3 年 3 月	創立 30 周年記念誌発行
5 月 1 日	児童数 330 名
4 年 5 月 1 日	児童数 292 名
5 年 5 月 1 日	児童数 270 名
6 年 5 月 1 日	児童数 239 名
7 年 5 月 1 日	児童数 206 名
11 月 20 日	創立 35 周年航空写真撮影
8 年 5 月 1 日	児童数 190 名

2. 教 育

(1) 学校教育目標

—— 明るく 強く 心豊かに生きる子の育成 ——

- ア 確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成
- イ 心身ともに健康でたくましい児童の育成
- ウ 豊かな感性を持ち、創造性あふれる心豊かな児童の育成
- エ 生命と自然を大切にし、文化と伝統を尊重する児童の育成
- オ 個人の尊厳と人権を尊重し、国際性豊かな児童の育成

(2) 目指す児童像

『 よく考える子 たくましい子 心の豊かな子 』

(3) 目指す学校像

- ア 明るく楽しい学校
- イ 夢と希望のある学校
- ウ 美しく魅力のある学校
- エ 創意あふれる元気な学校
- オ 社会に開かれた学校

(4) 学校経営方針

めまぐるしく変化していく社会において、変化を前向きにとらえて主体的に行動し、よりよい社会と幸福な人生を作り出せる人の形成を目指すため、学習指導要領、京都府教育振興プラン及び木津川市教育振興基本計画に基づき、児童の実態を把握し、家庭や地域社会との連携を深めて本校教育の一層の充実に努める。

- ア 義務教育の中核としての学校教育の役割を理解し、教育活動を行う。
- イ 公教育としての共通性の担保と多様性の包摂を目指す。
- ウ 児童と教師が集い、共に学び、生活する場としての価値を最大化していく。
- エ 生涯学習社会を生き抜く自立した学習者の育成を図る。
- オ 義務教育の目的を達成するための創意工夫を発揮する。
- カ 公教育を支える学習基盤を一体的に検討・充実させる。

(5) 本年度の努力点

- ア 学校生活全般において、他者と関わり合いながら共に学び、人間性を育む教育活動を推進する。
- イ 公教育として必要な共通性を担保しつつ、子供たちの個性や多様性を尊重し、一人一人の良さを徹底して伸ばす教育活動を推進する。
- ウ オンラインやデジタル等の情報技術を有効に活用しながら「魅力ある学校づくり・授業づくり」を進め、児童そして教師が学ぶ楽しさや期待を感じながら、共に学校での学びに向かうことができるようにしていく。
- エ 児童が、自らの学びを「自分事」として捉え、自発的に他者と関わりながら自分の学びを深めていくような学習活動を適切に組み入れる。
- オ 学校や地域、児童が置かれた状況やその特性に応じて、創意工夫をこらした教育活動を展開する。
- カ 教師が児童によりよい教育を行うことができるよう、働き方改革の更なる加速化、処遇改善、指導・運営体制の充実、育成支援を一体的に進める。

【重点研究】

ことばの力を培い、豊かな心と自ら学ぶ力を育てる図書館教育
～読書活動を通して、互いの思いや考えを伝え合い高め合う子どもの育成～

木津川市立梅美台小学校



梅美台小学校校歌

作詞 宇田 弘一
作曲 巽 稔史
森本 陽三郎

一 緑も豊かな 高台に

ゆかしく香る 梅の花

楽しく学ぼう 手をとりあつて

瞳がきらきら 明るい子

望みを高く 明日を拓き

さあ 未来へ 翔こう

二 小鳥もさえずる 学び舎に

うす桃色の 花水木

仲良く遊ぼう 肩くみあつて

いつでも輝く 元気な子

夢みる翼 大きく広げ

さあ 世界へ 翔こう

郵便番号 619-0215

所在地 京都府木津川市梅美台四丁目26番地

電話 (0774) 73-6421

FAX (0774) 73-6423

E-mail umemidai-es@kizu.ed.jp

HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/umemidai-es/>

沿革

平成

- 9. 4. 1 学研都市の建設に伴い「木津小学校梅谷分校」を廃し、旧分校校区と梅美台・州見台地域を校区として開校（児童数112名）
- 10. 5.26 中国天津市児童使節団来校
- 11. 4. 1 京都府小学校教育研究会図書館教育の研究協力校（平成11年度～平成12年度）
5.29 PTA発足に伴いPTA設立総会開催
- 12. 11.16 京都府小学校教育研究会図書館研究大会を本校で開催
- 13. 4. 1 特別支援学級開設、「たんばぼ学級」と命名
5.28 中国天津市児童使節団来校
6.24 読書活動の優秀実践校として文部科学大臣表彰受賞
- 14. 2. 8 木津町指定国際理解教育実践発表会を開催
9. 1 学校評議員設置
- 15. 2.28 校歌制定
- 16. 11. 1 児童数の増加に伴い、仮設校舎（2階建て、普通教室5室）建設
- 17. 10.26 京都教育大学現代GP「知的財産創造・活用力を育成する教員の養成」事業において実施する小学校における知的財産創造・活用力育成のための教材化モデル及び授業パッケージ開発のための研究協力校（先端技術領域）
- 18. 4. 1 児童数の増加に対応するため、多目的ホールを普通2教室に改装
11.25 創立10周年記念行事開催
- 19. 3.12 木津川市誕生に伴い、木津川市立梅美台小学校と改称
- 19. 4. 1 州見台小学校を分離（全11学級、児童数256名となる）
- 20. 9.26 「やましろ地域学習推進研究協力校」（平成20年度・21年度）
11.15 京都教育大学現代GP事業研究協力校最終年度発表
- 21. 4. 1 児童数増加に対応するため、プレハブを教室として使用
1.14 京都府山城教育局指定「やましろ地域学習推進研究協力校」実践発表会
- 22. 2. 1 京都府山城教育局指定「育ちと学びをつなぐ実践交流会」実践発表
- 23. 4. 1 京都府総合教育センター「ユニバーサルデザイン授業」の研究協力校
- 24. 4. 1 児童数の増加に対応するため、6教室を増築
京都府総合教育センター「ユニバーサルデザイン授業」の研究協力校（2年次）
- 25. 4. 1 児童数の増加に対応するための新校舎4階建16教室増築に伴い、プレハブ校舎4教室を使用
- 26. 4. 1 新校舎4階建16教室使用開始、プレハブ校舎4教室解体
京都府教育委員会「教師力向上」教育実践力継承事業協力校
- 28. 5.25 創立20周年記念航空写真撮影
- 30. 11. 6 京都府山城教育局主催「山城地方教育実践フォーラム」での公開授業

令和

- 6. 5.16 木津川市特色ある学校づくり推進事業指定校
- 8 創立30周年 コパンでの水泳学習開始
- 8. 5.15 学校運営協議会設置
- 8. 5.22 木津川市特色ある学校づくり推進事業指定校

2 教育

(1) 学校教育目標 「豊かな心と優れた感性を持ち、心身ともに健やかに、ひとり立ちできる児童の育成」

(2) めざす児童像

- なかよく 優しく 思いやりがあり 感謝できる子
- かしくく めあてを持ち すすんで学ぶ子
- たくましく 元気で くじけず やり抜く子

(3) 学校経営方針

- ア 安心・安全の充実
- イ 持続可能な教育環境の構築
- ウ 主体的に学ぶ児童の育成
- エ めざす児童像の具現化
- オ 教職員の資質・能力を高めることによる教師力の向上
- カ 保護者・地域との連携「共有」と「協働」

(4) 重点課題

- ア 安心・安全の充実
- イ 教科担任制(交換授業含む)の推進
- ウ 「共有」と「協働」～特活・生指・特支・授業の4視点から～
- エ 目的(ねらい)・目標への意識高揚
- オ 教職員の資質・能力の育成・向上
- カ 学校運営協議会の立ち上げ

(5) 重点目標

ア 「個別最適な学び」と「協働的な学び」

(ア) 個別最適な学びと協働的な学び

- ◇ タブレットや ICT 機器を有効に活用し、児童の学習意欲の向上を図る。

(イ) 学びに向かう力の定着

- ◇ 「どうすればよいかを「考え」「やってみる」」ことを大切にしたい指導を意識的に行う。

(ウ) 基礎基本の習得

- ◇ 専科担当や交換授業を含めた教科担任制(理科・外国語等)を実施し、授業の質を高める。
- ◇ 話し合い活動を意識した授業実践の継続を図る。
- ◇ 「家庭学習の手引き」発行も含め、より良い学習習慣の定着を図る。

(エ) 小中連携

- ◇ 互いの授業参観や市学力充実会議等での実態交流をはじめ、小中連携を推進する。

イ 多様性を尊重し合う豊かな人間性

(ア) 道徳教育の推進

- ◇ 特別の教科道徳の指導を要とし、日常生活で道徳的価値の表れを評価する場面を設け、児童の内面に落とし込む。

(イ) 生徒指導の充実

- ◇ 「学校いじめ防止基本法」に基づき、まずは未然防止の取組を進めるとともに、日常の情報交換等によりいじめ等の問題事象の早期発見・早期対応及び未然防止に努める。
- ◇ 生徒指導の4つの視点に沿った指導の充実を図る。
- ◇ きずなルームの活用やスクールカウンセラーとの連携をはじめ、児童の居場所づくりに努める。

(ウ) 読書活動の推進

- ◇ 読書スペースの整備に努め、本に親しみやすい環境を促進する。

(エ) 人権教育の推進

- ◇ 教育活動全体のあらゆる機会に人権教育を適切に位置付け、社会情勢の変化に伴い、多様性・複雑化する人権問題の解決に向け、主体的に行動できる力を育成する人権学習の充実を図る。

(オ) 特別支援教育の推進

- ◇ 配慮を要する児童の個別の指導計画や支援計画等を作成し、個々のニーズに合った教育を行う。また、必要に応じて校内支援委員会を開催し、児童・保護者等の実態に応じた対応の検討・実践を図る。

(カ) 幼児教育の推進

- ◇ 「架け橋プログラム」を基に、保幼小の円滑な接続に努める。

ウ 健やかな身体の育成

(ア) 食育の推進

- ◇ 栄養教諭を中心に、食に関する指導を通して、望ましい食習慣の形成や食文化への理解を深める取組を推進する。

(イ) 体力の向上

- ◇ 体力テスト結果や学校保健会での助言を含め、持久走や縄跳びを奨励し、体力向上を図る。

(ウ) 健康の保持増進

- ◇ 計画的な保健指導を実施する。

エ 持続可能な社会を築く生きる力

(ア) キャリア教育の推進

- ◇ 総合的な学習の時間等も含めた指導計画の見直し。

(イ) 情報教育の推進

- ◇ ICT支援員とも連携したタブレット端末活用の推進を図る。

(ウ) 人材育成

- ◇ 他の教職員の実践に学ぶ機会を充実させ、資質能力の向上に努める。

(エ) 環境教育の推進

- ◇ 各教科領域で環境教育の視点を持った指導計画、授業展開の推進を図る。

(オ) 持続可能な教育の推進

- ◇ 教科担任制や交換授業を実施し、持ち時間の軽減や担当教科の縮減を図る。

(カ) 防災教育の充実

- ◇ 訓練の実施や危機管理マニュアルの見直しをはじめ、児童自身が自ら考え、安全な行動をとる指導を展開する。

オ 学びを支える教育環境の整備

(ア) 困難な環境にある子どもへの支援

- ◇ 市のこども家庭支援課や要対協との連携を継続する。

(イ) 教職員の資質向上

- ◇ 校内研修に加え、外部での研修、外部からの講師招聘等を含め、研修機会や内容の充実を図る。

(ウ) 魅力ある学校づくり

- ◇ 学校運営協議会を立ち上げ、本校ならではの取組を整備していく。

(エ) 安心・安全な教育環境の整備

- ◇ ハード面の安全確保に努めるとともに、様々な取組に対して安心・安全の視点に立ち再構築する。

カ 地域を学び、家庭・地域とともに生きる

(ア) 社会総がかり子育て支援

- ◇ 地域と連携した体験学習や地域学習の推進を図る。

(イ) 家庭教育の支援

- ◇ PTAと連携した取組の推進を図る。

(ウ) 地域資源の活用

- ◇ 郷土資料館や福寿園、ジュノパーク、ふおとん等をはじめ、様々な人材や機会の利活用を促進する。

(エ) 文化財の活用

- ◇ 恭仁宮跡の広報を行い、歴史的価値観について認知を広める。

木津川市立州見台小学校



州見台小学校校歌

作詞 尾崎 昌功
作曲 森本 陽三郎

一 光さす 色あざやかな 学び舎に
笑顔と元気が 満ちあふれ
州見の丘に はずんでる
やさしさ ぬくもり
みんなで 広げよう
今 心の歌を 奏でよう

二 風が吹く 緑も豊かな 学び舎に
夢と希望が 満ちあふれ
州見の空に 届いてる
未来の 扉を
みんなで 開こう
今 心の歌を 響かせよう

郵便番号	619-0216
所在地	京都府木津川市州見台一丁目32番地
電話	(0774) 72-9237
FAX	(0774) 72-9244
E-mail	kunimidai-es@kizu.ed.jp
HP・URL	http://www.kizu.ed.jp/kunimidai-es/

1. 沿革

平成19年4月	木津川市立木津小学校・梅美台小学校から分離し、 独立校として開校
平成20年3月	第1回入学式（入学生114名 全17学級 児童数510名） 校歌制定
平成20年4月	第1回卒業証書授与式（卒業生 62名） 第2回入学式（入学生138名 全19学級 児童数600名） 親のための応援塾開催
平成21年3月	第2回卒業証書授与式（卒業生 62名）
平成21年4月	第3回入学式（入学生134名 全23学級 児童数659名）
平成22年3月	第3回卒業証書授与式（卒業生 79名） 児童数増加に伴い、新校舎（2階建普通教室6室）建設
平成22年4月	第4回入学式（入学生135名 全26学級 児童数719名）
平成23年3月	第4回卒業証書授与式（卒業生 98名）
平成23年4月	第5回入学式（入学生118名 全27学級 児童数745名） 中校舎にエレベーター設置 京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校
平成24年3月	第5回卒業証書授与式（卒業生102名）
平成24年4月	第6回入学式（入学生144名 全27学級 児童数796名）
平成24年11月	京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校 中間発表会
平成25年3月	第6回卒業証書授与式（卒業生122名）
平成25年4月	第7回入学式（入学生118名 全27学級 児童数785名）
平成25年11月	京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校 研究大会
平成26年3月	第7回卒業証書授与式（卒業生137名）
平成26年4月	第8回入学式（入学生153名 全27学級 児童数810名）
平成27年3月	第8回卒業証書授与式（卒業生137名）
平成27年4月	第9回入学式（入学生137名 全27学級 児童数810名）
平成28年3月	第9回卒業証書授与式（卒業生 137名）
平成28年4月	第10回入学式（入学生104名 全26学級 児童数775名）
平成29年3月	第10回卒業証書授与式（卒業生 123名）
平成29年4月	第11回入学式（入学生127名 全27学級 児童数782名）
平成30年3月	第11回卒業証書授与式（卒業生 140名）
平成30年4月	第12回入学式（入学生92名 全27学級 児童数729名）
平成31年3月	第12回卒業証書授与式（卒業生 121名）
平成31年4月	第13回入学式（入学生105名 全26学級 児童数712名）
令和2年3月	第13回卒業証書授与式（卒業生 148名）
令和2年4月	第14回入学式（入学生111名 全24学級 児童数671名）
令和3年3月	第14回卒業証書授与式（卒業生 134名）
令和3年4月	第15回入学式（入学生77名 全24学級 児童数620名）
令和4年3月	第15回卒業証書授与式（卒業生 100名）
令和4年4月	第16回入学式（入学生88名 全27学級 児童数613名）
令和5年3月	第16回卒業証書授与式（卒業生 127名）
令和5年4月	第17回入学式（入学生64名 全25学級 児童数557名）
令和6年3月	第17回卒業証書授与式（卒業生 93名）
令和6年4月	第18回入学式（入学生84名 全26学級 児童数546名）
令和7年3月	第18回卒業証書授与式（卒業生 110名）
令和7年4月	第19回入学式（入学生70名 全23学級 児童数511名）
令和8年3月	第19回卒業証書授与式（卒業生 116名）
令和8年4月	第20回入学式（入学生89名 全22学級 児童数479名）

2. 教育

(1) 基本方針

学習指導要領、第2期京都府教育振興プラン、第2次木津川市教育振興基本計画の趣旨を踏まえ、保護者・地域の願いや児童の実態を把握し、家庭や地域社会との連携、協働を深めながら学校教育目標の実現をめざす。

(2) 学校教育目標

「人と人との豊かなふれあいの中で学び合い、主体的に行動する児童の育成」

(3) めざす児童像

- かしこく・・・めあてをもち、進んで学ぶ子ども
- やさしく・・・優しく思いやりがあり、感謝できる子ども
- すこやかに・・・元気で、くじけず、やり抜く子ども

(4) 学校経営方針

- ア 「学びの土台」を確立し、「わかる・できる授業」を実践し、児童に基礎的・基本的な知識や技能を習得させる。
- イ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的、対話的で深い学びに向けた授業改善を進める。
- ウ 児童の課題や実態を把握し、自他を尊重し互いに認め合い、いじめや偏見・差別を許さない態度を育成する。
- エ 想定外や危険な事態に際し、自ら安全を確保するため、児童の安全意識・能力を向上させる。
- オ 子どもを中心に学校・保護者・地域と連携した教育環境づくりを推進する。

(5) 重点目標

- ア 確かな学力を身に付け、主体的に学び考える児童の育成
 - ・基礎・基本の定着や学習習慣の確立を図る。
 - ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる。
 - ・タブレット等ICTを活用し、「わかる」「できる」「楽しい」授業を創造する。
- イ 多様性を尊重し合う豊かな心の育成
 - ・いじめや偏見・差別をなくそうとする意識と態度を育成する。
 - ・児童の規範意識及び自尊感情や自己肯定感を醸成する。
- ウ 持続可能な社会を築く生きる力の育成
 - ・見通しをもって粘り強く取り組み、自己を振り返りながら次につなげる力を育成する。

(6) 重点研究テーマ

「主体的に学習に取り組み、友達と共に学び合う児童の育成」
～算数科における主体的・対話的な学びを目指して～

木津川市立城山台小学校



城山台小学校校歌

作詞 安倉晃一
作曲 内海貞嘉

一

大空ひろき みのりの丘に
明日を照らす 溢れる笑顔
交わす言葉も 晴れやかに
喜び満ちて 育ちゆく
城山台 輝いて

二

遠くに望む 泉の流れ
真理を求め 見つめる瞳
夢と希望を 膨らませ
仲間を信じ 進みゆく
城山台 羽ばたいて

三

風爽やかな 鹿背の山並み
共に鍛えし 心と身体
確かな未来 切り拓き
新たな歴史 創りゆく
城山台 永遠に

郵便番号 619-0218

所在地 京都府木津川市城山台六丁目1番地1

♣よつば学舎

電話 (0774) 71-3900

FAX (0774) 71-3901

ふたば学舎

電話 (0774) 74-8867

FAX (0774) 71-0066

E-mail shiroyamadai-es@kizu.ed.jp

H P <http://www.kizu.ed.jp/shiroyamadai-es/>

Ⅰ 沿革

平成

- 26.4.4 開校式
- 26.4.8 平成26年度入学式
- 27.3.20 平成26年度卒業証書授与式
- 27・28年度京都府学力向上システム開発校指定
- 27年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 27.4.7 平成27年度入学式
- 28.2.9 京都府学力向上システム開発校1年次発表
- 28.3.18 平成27年度卒業証書授与式
- 28年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 28.4.7 平成28年度入学式
- 28.11.1 京都府学力向上システム開発校2年次発表
- 29.3.17 平成28年度卒業証書授与式
- 29年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 29.4.7 平成29年度入学式
- 30.2.9 第3回研究発表会
- 30.3.20 平成29年度卒業証書授与式
- 30年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 30.4.9 平成30年度入学式
- 30.11.8 第4回研究発表会
- 31.3.20 平成30年度卒業証書授与式
- 令和元・2年度京都府学びの深化プロジェクト実施校指定
- 令和元年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 31.4.9 平成31年度入学式

令和

- 2.1.31 第5回研究発表会
- 2.3.19 令和元年度卒業証書授与式
- 元・2年度京都府学びの深化プロジェクト実施校指定
- 2年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 3.2.9 第6回研究発表会
- 3.3.26 ふたば学舎新設
- 3.4.6 よつば学舎(既設校舎)で4・5・6年生始業(1年生は7日から)
ふたば学舎で2・3年生始業
学校三師それぞれ学舎に配置
- 3.4.15 城址公園での体育科学習開始(高学年)
- 3年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 4.2.2 第7回研究発表会(まん延防止等重点措置発令のため校内研として実施)
- 4.3.29 ひだまりホール新設
- 4年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 5.2.1 第8回研究発表会
- 5.4.1 ふたば学舎増設 南西門使用開始
- 5年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 6.4.8 よつば学舎で5・6年生始業(1年生は9日から)
ふたば学舎で2・3・4年生始業
- 6年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 7年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
- 8年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定

2 教育

学校教育目標

豊かな感性と知力を培い、意欲的に生きる子どもの育成

目指す児童像

明るい子（明るく素直な心）

考える子（主体的な行動力）

たくましい子（心と体）

重点研究テーマ

自ら学ぶことを楽しむ児童の育成

～自己調整学習の充実を図る授業づくりを通して～

学校経営方針

安全安心の確保・充実

超大規模校となり、教育環境が日々変化する中であっても、児童が安全安心な学校生活を送り、充実した教育活動に臨むことができるよう最大限に努める。

学力の充実と向上

児童の「学びに向かう力（非認知能力）」をはぐくむ「自己調整学習」の研究活動を柱に、個別最適な学びと協働的な学びを一体化に充実させ、タブレット型PCや電子黒板等のICT等を効果的に活用した「わかる授業」を推進する。

個別最適な学びの充実

多様な子どもたち一人一人を大切に、誰一人取り残すことなく、個別最適な学びを充実させ、個性や能力を最大限に伸ばす教育を推進する。

豊かな心の育成

児童の「非認知能力」を高めることを意識し、「包み込まれているという感覚」を実感させながら、相手を思いやる温かな心と豊かな人間性をはぐくむ教育を推進する。

組織的な協働体制の確立

教職員の総勤務時間縮減に向けて働き方改革を推進し、教職員が子どもと向き合える環境づくりに努める。教職員一人一人の能力や特性を活かしながら、「よつば学舎」と「ふたば学舎」の協働体制で教育の質の向上を図る。